令和4年度　産業経済部長マニフェスト（総括）

産業経済部長	谷崎　勉

【基本方針】

農林水産業は高齢化と担い手不足が深刻化しており、担い手の確保・育成に向けて、関係機関等との連携によって新規就業への誘導に努めます。また、気候変動の影響を大きく受けている水産業の持続的発展に向けて、漁業者を対象とした勉強会や意見交換を重ねながら、各種事業の効果的な実施への支援に努めます。

久慈市の魅力発信と交流人口の拡大に向けては、三陸沿岸道路の開通効果を最大限発揮すべく、新山根温泉べっぴんの湯の営業再開、各種観光イベントや体験型観光の情報発信の強化に取り組むとともに、秋まつりなどの各種観光イベントについては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて開催の可否・実施方法を適切に判断しながら、地域経済の活力再生に取り組みます。

また、地域経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を長期に渡って受け続けており、各種支援策の周知と丁寧な対応によって各種支援制度の活用を促すとともに、商工業の振興を図るため、市街地への新規出店に対する支援及び既存企業の持続的発展への支援に努めます。

【重点目標】

1　農林水産業の担い手確保と基盤強化

達成状況：一部達成

○内容

■ 農業の振興を図るため、県・農協等の関係団体と連携し、就業相談会や作業体験、PR冊子等の配布を行い、新規就業者の育成・確保を目指します。（新規就業者8人、多面的機能支払い交付金活用地区10地区）

■ 木の仕事協議会等と連携し、林業の新規従事への誘導に努めるとともに、健全な市有林育成のため、計画的な施業を進めます。（新規就業者3人、施業面積65ha）

■ 久慈市就業者育成協議会等と連携し、水産業の新規従事への誘導に努めるとともに、漁業者が取り組む各種事業の効率性向上に向けた各種勉強会等の開催に努めます。（新規就業者3人、勉強会2種）

●取組結果

■ 農業

- 月１回開催する就業相談会に参加し、関係機関と連携した支援等により、担い手の確保に努めました。
  【新規就業者は、２月末日現在で14人】
- 多面的機能支払交付金の活用については、制度利用の勉強会を開催しながら、活動面積の維持を図りました。
  【活用地区は10地区を維持し、活動面積は微増】

■ 林業

- 「久慈地方木の仕事協議会」が実施する担い手育成活動への支援により、担い手の育成・確保に取り組むとともに、市有林の計画的な施業（地拵え、植付、下刈り、間伐）を行いました。
  【新規就業者は、２月末日現在で3人】
  【施業面積は、２月末日現在で約52ha】

■ 水産業

- 新規漁業就業の確保に向けて、就業意向調査を継続しながら、各生産部との意見交換会のほか、定置組織からのヒアリング及びアンケート調査を通じて、受入条件等の情報収集に努めました。
  【新規就業者は、２月末日現在で１人】
- 漁業者及び買受人向けに神経締め講習会及び高度衛生品質管理講習会を開催し、魚価及び衛生品質管理の向上に向けた意識喚起に努めました。
  【勉強会の開催は、２月末日現在で4種】

2　魅力発信と交流人口の拡大

達成状況：一部達成

○内容

■ 白樺、琥珀、海女といった地域資源及び久慈秋まつりなどの各種イベントの情報発信により集客の増加に努めます。（市内主要観光施設（6施設）入込数90万人）【コロナ影響】

■ ひと・もの・ことの地域資源を最大限活用し、教育旅行等の体験型観光を推進し、利用客の増加を目指します。（体験型観光受入人数200人（ふるさと体験学習協会受入））【コロナ影響】

■ 首都圏でのシティプロモーション強化の拠点である「おかえり館」を積極的に活用し、イベント開催等によって当市の魅力発信に努めます。（イベント開催4回、販売商品数40品増）【コロナ影響】

●取組結果

■ 新聞、テレビ、ラジオ等によるイベント情報の発信に努めながら、集客拡大を図っていますが、観光入込の回復には至っていない状況です。
【市内主要観光施設（6施設）の入込数は、２月末日現在で81万人】

■ 新型コロナウイルス感染症の影響により停滞した交流人口の回復を図るため、体験型観光利用促進事業を実施しました。一般団体客の体験者数は昨年から回復し、目標を上回ることができました。
【受入人数は、２月末日現在で430人】

■ 都内の感染状況を勘案しながら、「おかえり館」及び運営事業者のネットワークを活用したイベントに積極的に参加するとともに、市内事業者の商品の取り扱い増加に努めました。また、包括連携協定を締結した「八芳園」との連携を深めながら、「久慈市感謝祭inMuSuBu」などを開催し、市の魅力発信に努めました。
【イベント実施数は、２月末日時点で21回（年度末時点では22回の見込み）】
【販売商品数は、２月末日現在で66品増加】

3　商工業の振興と中心市街地の活性化

達成状況：達成

○内容

■ 長引くコロナ禍で苦境に直面する商工業者等の経営を支えるべく、適時適切に支援策を講じ、早期回復に取り組みます。

■ 中心市街地の活性化に向けて、空き店舗の有効活用を促すことで、商店街に不足している業種の確保、若者が集える場の創造に努めます。（空き店舗活用出店数3件）

■ 中心市街地活性化の核施設である土風館とYOMUNOSUの賑わいを創出するための各種イベントの開催を支援します。（7事業）【コロナ影響】

●取組結果

■ 資金借入に係る利子及び保証料の補給を継続したほか、宿泊補助、物産展出展補助、中小企業者緊急支援給付金（4回目）に加えて、中小企業者物価高騰対策給付金などによる支援を実施しました。また、停滞する地域経済の消費喚起として、プレミアム付商品券の発行など、適時適切な事業を展開しました。

■ 中心市街地への出店を促進するため、空き店舗出店費補助により、店舗改装に係る費用の一部を支援しています。
【空き店舗活用出店数は、２月末日時点で3件】

■ 各種団体が企画する各種イベントを資金面及び体制面で支援し、中心市街地の賑わいの創出に努めました。
【中心市街地でのイベント支援件数は、２月末日時点で7件】

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標